



1人目は松本の小学6年の子ども商店、柳沢匠飛(たくと)君。

5回のMG経験の後、自力で35,000円の参加費を貯めて、念願の西先生ご夫妻の岐阜うかいMGへ。

9卓54人、子どもは自分だけという初めての環境で、スピーチはまだまだ緊張していたけど、既に周囲を教えたりして大人たちと仲良くなっている模様。

素晴らしい環境で人間力を大につけてもらいたいね◎

もう一つは、これまた念願の自社ビルで自身の初ライブを行う、ベルギービールの三輪さん。

好きなベルギービールの商売でビルが新しく出来て、そこで自分のライフワークである音楽のライブができて、ファンがビール片手に聴きに集まってくれて、社員さんから誕生日サプライズのお祝いをもらう。

苦しい時期を知っていただけに感無量。
私ならもう思い残すことはないと思っただろう。

多分、2人はほんの通過点と思っている。
でも、何かを達成して周囲をとっても幸せにしている。

私の夢はこんないい風景を見続けることかも知れないな。

匠飛(たくと)君、三輪さん、今日はおめでとう。



【7.8月イベントスケジュール】			
6/30・7/1	大阪 TOC実務者コース	8/4・5	長野 松本MG
7/9	東京 指示ゼロ賃金セミナー	8/7	大阪 あなたに会いたいといわれる存在になる発信講座
7/11・12	気仙沼 MG	8/7	長野 伝える天才になる図解セミナー
7/14	小倉 1DayMG	8/8・9	山形 庄内MG
7/14・15	大阪 TOC実務者コース	8/11	大阪 ベルギービールアドバイザー認定講座
7/28・29	大阪 家族MG	8/11・12	大阪 子ども商店合宿
		8/18・19	東京 家族MG
		8/21・22	岩手いちのせき TOC実務者コース
		8/25・26	大阪 家族MG

イベントスケジュールは7/9時点の予定です。最新情報はたくらみ屋HPの「日程」でご確認ください。

コワーキング
in
たくらみベース

週3日ほど、たくらみベースを開放しています。
大阪への出張や空き時間にご利用くださいませ。
マネージャー・勝矢和美が在室しています。
Wi-Fi、充電、お菓子・飲み物フリーです、
まずは勝矢のメッセージャーへご連絡くださいませ。



たくらみ屋のブログはこちら



家族が良くなり、
地域・会社が良くなる
たくらみ満載。



たくらみ屋のラインはこちら



イベント情報やたくらみ語
録が届きます♪



「たくらみ屋・マネージャー通信」
子どもたちの楽しいのエネルギー
やり遂げる力、本来もってる資質って素晴らしい
なっている。ものすごく刺激をもらえる
子ども商店プロジェクト、大好きです♡

文:勝矢和美 キキエッセンス:北村なお子

たくらみ屋



<https://takuramiya.com/>

たくらみベース ☎550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目10-11マルイ江戸堀ビル2F



たくらみ屋
TAKURAMIYA

マネージャー通信 Vol.4 2018.7-8

こんにちは。たくらみ屋マネージャーの勝矢和美、北村なお子です。
たくらみ屋ができて1年。そろそろ、たくらみの楽しいスパイラルが各地で起こってきています。

今回のマネージャー通信はその中でも勢いを加速する「泉大津@子ども商店プロジェクト」と、京都・本拠地で全国で約30店の
アパレルを店舗展開されるヒューマンフォーラムさんの躍進の根っこをインタビューしましたのでレポートします。
皆さまのたくらみのヒントになりますように♪ どうぞ、お楽しみください(*^^*)

リアルの子どもの商店で子どもが学んだこと・大人たちも学んだこと



●「大人は答えを教えない」が合言葉の子ども商店プロジェクト

大阪の「泉大津@子ども商店」3回の1dayMGとたくらみカフェでのMQ会計の基礎・フィールドワークで俄然、商売に興味を持った
子どもたち。大人たちはその勢いに押され、急きよ、5/27(日)助松神社・みんなdeつながる市場でブースを確保しました。

出店するためには出店申込み書の提出が必要です。いわゆる、経営計画書の作成です(*^^*)
「いくらG(利益)を出したいか」そこから逆算でP(価格)を決め、目標Q(個数)を計算します。 Gからの逆算だと、なんとなく
決めていたPがどんどん高くなったり、「アルバイト代(兄弟や友達に払うお給料)なんて払いたくない!」って言い出したり…。

ですが、「大人は答えを教えない」が合言葉の子ども商店プロジェクト。
運営の中心メンバー・松南志塾の副代表理事の岩田千栄美さんも、問いを投げかけるだけです。子どもたちが時間をかけても
自分たちで色んなことを考えたり感じたりしながら育つ場を創ります。

そして自宅ではお母さんたちも忍耐です。一緒にMGを学んでいるお母さんたちは、子どもたちの「考える機会を奪わない」
「失敗する機会も奪わない」…。 準備が始まると、家の中はわちゃくちゃにもなります(;; 兄弟のアルバイト代での労使交渉も、
もめつぱなしです(;; それでも、手も、口も出さず、じっと見守ります♡



●それぞれの個性がでる店舗経営

「何を売るか」「いくらで売るか」「何個売るか」「そもそもGはいくら出したいのか」全て子どもたちが共同経営者(友達)と相談して決めました。
「1本140円のチョコバナナ屋さん」「3ヶ300円のみたらし団子屋さん」
「1杯400円の梅ジュース屋さん」価格設定も商品のこだわりもそれぞれです。

140円のチョコバナナは買いやすい値段なので、売れ行きも良い。でもとなりジュース店より倍忙しいのに、売上は同じくらい? そんな疑問が出たり、みたらし団子屋さんは早々に完売し、味も美味しく、好評だったけど、買えずに残念がってる人も多かった…。

梅ジュース屋さんは高値設定だったから、売れるスピードは鈍かったけど、味へのこだわりがリピートに繋がったり、最後まで諦めない販売意欲が素晴らしいかったり…。

●子どもたちは周囲を豊かにするお金の循環方法を本質的に知っている

「アルバイト代なんて払いたくない!」って言っていた子は、朝からずっと手伝ってくれたお母さんに2,000円、一緒に頑張ってくれた弟には1,000円を感謝の気持ちと一緒に手渡し、社長の自分のお給料は1,000円としました。後日の経営会議でみんなで決算をし、自分たちの仕事でどれだけの利益を出したかをしっかり把握したら、利益の使い方は、後日の宿題です。(3社ともちゃんと利益が出ています♪)

子どもたちは本質的に知っています。どんなふうにお金を循環させると自分や周りの人が幸せになるのかを…だから、大人たちは子どもたちが自由に考え、のびのびと行動出来るよう、場を作り、見守るのみ(*^^*)

子ども商店プロジェクト、MG研修を通じて、子どもも大人も一緒に学び合っています。基礎と共通言語を培い、地域と繋がります。全国で子どもの生きる力、才能を青天井に伸ばしたい方々、ぜひ、一緒にやりましょう(*^^*)

泉大津子ども商店プロジェクト
Facebookページはこちら ▶



泉大津子ども商店プロジェクト運営の中心
一般社団法人松南志塾さんのホームページはこちら ▶



たくらみ屋★子ども商店
ブログはこちら ▶



たくらみ屋マネージャー
INTERVIEW

◆自分たちが育ってきた風土・文化を次世代に繋ぎたい

通信Vol.1でもご紹介しました、中井和人さん。
中井さんは京都に本部がある株式会社ヒューマンフォーラム、スピンスの関西地区・店舗管理をされている方です。

ヒューマンフォーラムさんは「スーパー・スピンス」はじめ、全国で約30店のアパレル店舗展開をされてます。

去年の6月に米澤さんの指示ゼロのショートセミナーで私たちと出会い、その後、森本さんにミーティングを申し込まれ思考整理し、「まずは一通り、たくらみ屋さんのセミナーを全部受けます。」と言ってから1年がたちました。

延べ20名以上のスタッフさんがたくらみ屋のセミナーを受講されたり、梅田店のスタッフさん25名との予算達成・ご褒美旅行に信州フューチャーセンターでの指示ゼロセミナーを企画されたり、ヒューマンフォーラムさんの本社・京都で、幹部さん向けの指示ゼロセミナーを開催したり…。

かなり大々的に指示ゼロを会社に取り入れられました。

参加されたスタッフさんたちのFacebook投稿で、新店オープン、リニューアル、予算達成…様々なチームで取り組んだ課題をクリアしていく様子を目にしていたのと、並行して、中井さん自身が新業態のオープンに向け、チャレンジされていたので、この1年の過程をお伺いしたく…。

中井さんの中で何がどう動いていたのか、インタビューをお願いしました。

●「素晴らしい仲間の集い・ええヤツの育成」この理念・風土を次世代に繋げたい。

「ええヤツ」の定義は「明るく元気でちょっとアホ」
ボクらは創業者であり、現会長の出路さんたちと直接・間接に関わりながら、自分たちでもその風土を創ってきた。

今度は自分が、開拓していきながらも、次の世代に繋いでいく段階にありながら、言葉や数字ではない、風土・文化をどう伝えていったら良いのかわからなかった。
ヒューマンフォーラムは「守・破・離」を大事に思ってるから、「守」にあたる、礼儀とか人としての基本教育も徹底している。(実際、スタッフさんたちはものすごく、礼儀正しく、挨拶も良いです。)

だけど、そこを修得したら、次の段階、「破」「離」に行かないといけない。「守」は伝えやすいのだけど、「破」「離」をどう伝えていったら良いのかわからず迷ったところ、指示ゼロセミナーで米澤さんや森本さんと出会え、話せた事で、直感的にこれだ!と思った。

ボクもまだまだこれから、チャレンジを続けていく立場だけど、ヒューマンフォーラムの風土・文化を次世代に繋げていきたい。それはスタッフにもだけど、お客様たちとも共有したいと思ってる。

「素晴らしい仲間の集い・ええヤツの育成」これはボくらにとって財産で、これを次世代に繋げることはヒューマンフォーラムで育ってきたからこそできる社会への還元だと思っている。

●中井さんたちのチャレンジ：新業態のspinns vintage&café (スピンス ビンテージ&カフェ)

次世代へ風土・文化を繋げるための場創りです。「繋がり図書」もあり、アップサイクルの工房もあります。スピンスの主流はファストファッション。「ファスト」だからできた時間や資源をリユースしていきたい。

床貼や壁の色塗り、はじめ、面倒くさいと思うようなことを取ってみんなを巻き込み、自分たちで創った。だからこの場を次はみんなが自分の場として、新しい繋がりを創って行って欲しい。そう思ってるんです。 END



米澤さん、来阪の際訪問。
右から2番目はカフェ店長大森さん



▲ 繋がり図書 カフェで読めるし、貸出もできます。
スピンススピリット満載です♪

株式会社ヒューマンフォーラム<http://www.humanforum.co.jp/>

spinns vintage&café (スピンス ビンテージ&カフェ) http://www.spinns.com/vintagecafe_amemura/

大阪市中央区西心斎橋2-11-30ブルータスビル 2F



▲ スピンスさんのお客様との繋がり企画にたくらみ屋も協力♪
spinns@夢新聞8/22開催します♪講師はたくらみ屋ホープ
学生MG100期を目指す庄子文人君(右手前)
スピンスさんの企画は伊藤さん、岩月さん(左手前、次)